



<水ヶ浦小学校のみなさん>

ふれあいいいかた

生涯学習だより

昨年の水ヶ浦小は、ミニバスケットボール大会、サッカー大会で優勝するなど大活躍の年でした。そこで、5年生のみなさんに聞いてみました。

今年1年頑張ることは？ どんな年にしたいですか？

- 中藤 黎 さん 「元気にあいさつ 笑顔で手伝い」
ができる年にしたい。
- 瀨本直孝 さん 出会った人には、大きな声であい
さつができる年にしたい。
- 米田千潤 さん 進んで自主学習をして、小学校の
学習のまとめをがんばる。

- 大黒愛友 さん 下級生のお手本になれるように
がんばる。
- 矢野瑞葵 さん 漢字練習をして習った漢字をしっ
かり覚える。
- 梶原ひかり さん バスケットで選手になって試合で
活躍できるようにがんばる。

明けましておめでとうございます

2012年がスタートします。

今年は、4年に1回実施する「町民運動会」を予定して
いますので、多くの町民のみなさんに参加していただきま
すようよろしくお願いします。

1 月号

平成24年1月1日発行 No.81

■発行 伊方町教育委員会
■編集 教育委員会事務局 生涯学習室



伊方町教育委員会 教育長
阿部 松 壽

新年あけましておめでとーっ！おめでとーっ！おめでとーっ！

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より本町の教育振興に多大なるご支援とご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月11日の東日本大震災、千年に一度とも言われる地震と津波に襲われ2万人近い痛ましい犠牲者をだした未曾有の惨事が起こりました。亡くなられた方々の中には小中学生も300名近い方が含まれていました。ほんとうに悲しいことでもあります。尊い命を失われた多くの方々に深い哀悼の意をささげますと共に、被災をされました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

伊方町の教育におきましては、平成20年に告示をされた、教育の理念である「生きる力」を継承し、それを支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな心」を育む新学習指導要領への対応等にこれまで準備をしてまいりましたが、小学校は昨年4月から、そして中学校は今年の4月から完全実施となります。

児童生徒がふるさとに誇りを持ち、夢と希望にあふれ、心豊かでたくましく成長するよう、基礎、基本をしっかり身に付けさせ、自ら学び、自ら考える力、確かな学力を育むことができるよう児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実に、学校と一体となつて今後も取り組んでまいります。

また昨年、学校再編検討委員会の答申を受け、教育委員会としての学校再編計画を策定し、よりよい教育環境の整備に向け努めているところでございます。しかしながら、子ども達の健全育成には、学校や教育委員会だけの力では補えないものがあります。地域の子どもは地域で育てるという考えに立ち、今後も保護者、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

社会教育については、町民一人ひとりが生きがいとゆとりを持って、健康で心豊かな生活を送るため、生涯学習の役割は、きわめて大きいものがあります。少子高齢化社会や高度情報化の進展等、目まぐるしく変化する今日、人の

価値観も多様化するなか、いい人生を送るため「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」自分に合った方法で学び続けることができるよう学習への意欲、生きがいづくり、人権尊重の町づくり等に努め、今後も積極的に推進してまいります。

社会体育では、生涯にわたって活力ある生活が送られるよう、各種スポーツ大会の開催、共催、後援、助成を行うと共に、町民の皆さんの健康保持・増進に努めました。

これからもスポーツ推進委員や関連団体と連携を深めながらスポーツの普及・振興を図り、大会への参加等についても支援をしてまいりますので、町民の皆さんの積極的なご参加ご協力をお願いいたします。

また文化教育については、長い歴史の中で育まれ、守りつたえられてきた文化や歴史的遺産を保持・伝承していくことは、歴史や文化を正しく理解するために欠くことのできない貴重な歴史的財産であり、地域文化の向上発展の基礎をなすものであります。町見郷土資料館では調査研究成果の

展示をはじめ、伝統文化の継承等についても町民の多くの方のご支援をいただきながらすばらしい成果をだしております。今後とも文化財の保護等には引き続き力を注いでまいりますので、ご協力をお願いいたします。

皆様におかれましては、今後とも教育行政に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

謹んで

新年のお慶びを
申し上げます

教育委員長

森 清

教育委員

土居 由美

教育委員

森元 修治

教育委員

山口 千穂

伊方町社会教育委員の募集

伊方町教育委員会では、町民のご意見を各種社会教育施策に反映させるため、伊方町社会教育委員を1名募集します。

応募されます方は、次の事項に留意し教育委員会本庁生涯学習室・瀬戸公民館・三崎公民館に備え付けの「社会教育委員応募申込書」により、お申し込み下さい。多くのご応募をお待ちしています。

募集人員	募集期間	委員会の概要 委員の役割	応募資格
1名	1月5日(木) ～ 2月29日(水)	町の社会教育に関する意見・提言等 任期：平成24年4月1日から1年間 (継続あり) 会議開催：年3回程度	20歳以上の町内在住者 (議員・公務員を除く)

(注) 応募の結果は、応募された方に通知します。

【問い合わせ先】 伊方町教育委員会 生涯学習室 電話 38-2661

「いかた学童クラブ」参加募集のお知らせ

(1)目的

放課後、帰宅しても保護者が家庭にいない児童を対象に、平日の午後1時(1時以降下校の時間による)から午後6時まで、長期休業(夏・冬・春休み)については、午前9時～午後6時まで学童クラブを開設し、仲間づくりを通して児童の健全育成を図ります。

(2)実施期間

平成24年4月2日(月)～平成25年3月29日(金)まで
(但し、土・日曜日・休館日(祝日・年末年始等)を除く)

(3)実施場所

伊方町生涯学習センター
3階児遊館内 放課後児童クラブ室

(4)対象者

町内の小学校に在籍する1年生から3年生のうち、放課後帰宅しても保護者が家庭にいない児童

(5)定員

概ね30名まで(応募者多数の場合は、別途選考)

(6)申込場所

伊方町生涯学習センター内 3階 児遊館
(電話：38-0211(内線855))

(7)申込期限

平成24年2月29日(水)

(8)負担金

1ヶ月 2,000円(おやつ代など)

(9)留意事項

- ①児童の送迎は、各家庭で責任を持って行うこと。
- ②申込者はスポーツ安全保険(自己負担：600円)に加入すること。
- ③万一、事故等が発生しても町は一切責任を負いません。

体育功労表彰該当者は申請を!(2月1日(水)まで)

2月開催予定の伊方町生涯学習推進大会で体育功労者表彰を行います。次の表彰基準に該当される方は、教育委員会に備え付けの申請書に関係資料を添付し、2月1日(水)までに提出をお願いします。詳細についてはお問い合わせ下さい。

【表彰基準】

(1)個人

○個人競技で国、県、財団法人日本体育協会が主催又は後援している大会の県大会優勝者

○個人又は団体競技の選手として県予選を経た四国大会以上の出場者

(2)団体

○団体競技で国、県、財団法人日本体育協会が主催又は後援している大会の県大会優勝チーム

○県予選又は推薦を経た四国大会以上の出場チーム

(3)個人、団体を問わず国際大会出場者

【対象期間】

平成23年1月1日～平成23年12月31日の間に開催された大会

【問い合わせ先・申請書備付箇所】

- ・生涯学習室 38-2661
- ・瀬戸公民館 57-2111
- ・三崎公民館 54-1114

伊方町「女性のつどい」のご案内

婦人会が中心の事業ですが、町内の女性団体や一般女性の参加も歓迎します。共に学び集いましょう。

日時 1月15日(日) 13:00～16:10

場所 伊方町生涯学習センター 5階 多目的ホール

内容 ○講演 「防災について」

講師 消防署第二分署

署長 牧野賢治先生

○健康講座 「リラックス体操」(仮)

講師 健康運動指導士 浅岡良美先生

※運動のできる服装、シューズでご参加ください。

問い合わせ先

教育委員会事務局 生涯学習室 電話 38-2661

「三崎公民館新春行事」のご案内

「健康マラソン&ウォーキング大会」

○日時 1月3日(火)
○場所 三崎公民館(スタート・ゴール)
○受付 午後12時30分～
○コース

【マラソンの部】

- ・1.5kmコース 高浦(みつき浜付近)折り返し
- ・3.0kmコース 高浦(堀田建設付近)折り返し
- ・5.0kmコース 佐田(神社付近)折り返し
- ・10.0kmコース 阿弥陀池を1周して折り返し

【ウォーキングの部】

- ・5.0kmコース 佐田(神社付近)折り返し

後援 伊方町体育協会三崎支部

【ドライバーの皆様】

健康マラソン&ウォーキング大会及び三崎駅伝大会時には、選手への安全配慮をよろしくお願いします。

第44回 三崎駅伝大会

○日時 1月15日(日) スタート午前9時30分～
○コース 佐田岬小学校～三崎～井野浦～
三崎総合体育館前(ゴール)15.6km

○参加種別

- ・中学校男子の部 (5人編成)
- ・中学校女子の部 (5人編成)
- ・高校男子の部 (5人編成)
- ・一般の部 (5人編成)
- ・一般女子の部 (5人編成)
- ・ビギナーの部 (7人編成)



新春書き初め大会

- 日時 1月6日(金) 午前9時30分～
- 場所 三崎総合支所 2階 多目的会議室
- 講師 五島義長 先生
- 参加者持参物 習字道具(筆、下敷きなど)
※半紙、墨は不要



〈町見郷土館から〉

ふるさとの歴史や文化が分かる楽しさ

〈「ふるさと愛媛学」サポーター養成講座閉幕〉



12月3日(土)、伊方町生涯学習センターで「ふるさと愛媛学」サポーター養成講座が開催されました。春から開催してきたこの3回シリーズ講座もついに最終回です！
今回ははじめに、演習として愛媛県生涯学習センターの柚山俊夫先生が、「地域調査のまとめ方と成果の活用」と題して、地元のことを調べた後のまとめ方、見せ方、その後の活用などについて豊富な事例をまじえてお話され、参加者も興味深く聞き入っていました。
後半は、愛媛県歴史文化博物館の今村賢司先生による講演「資料収集・



愛媛県歴史文化博物館の今村賢司先生

聞き取り調査から見た佐田岬半島の裂織。佐田岬半島の各地に残る裂織(ツツシ・オリコ・ニスリ)の特徴を緻密な調査の成果から述べた後、さらにこれらが全国の重要有形民俗文化財に指定されている裂織の事例などと比較しても遜色ないことを説かれ、今後のさらなる調査の進展に期待を寄せられました。
今年度、愛媛県と伊方町の教育委員会のダブル主催で実施した「ふるさと愛媛学」…いや、「ふるさと佐田岬半島学」。これが郷土の歴史や文化に興味を持ち、理解を深め、今後の佐田岬半島ならではの地域おこしにつながるべく、いくきっかけとなることを、切に願っています。

8月5日を皮切りに10月12日までの全6回にわたり、講師に宇都宮史先生をお迎えし、町見公民館において、習字教室を開催しました。初めて習字を習う小学一年生や約30年ぶりに筆を持つ受講生の幅広い年齢層23名が硬筆と毛筆にチャレンジしました。硬筆では鉛筆、ペンの選び方や持ち方を、毛筆では筆の基本的な運び方を教えていただきました。宇都宮先生の熱心な指導のもと、受講生はそれぞれ、思い思いに筆やペンを走らせ、時間を忘れるくらい懸命に練習をし、作品を仕上げました。

「習字教室」開催!

町見公民館



終了後は、「有意義で充実した教室であったので定期的に習字教室を開いてもらえたら…」との声を聞くことができました。できあがった作品は、11月3日(木)に開催された「町見公民館まつり」に出展をしました。『受講生の力作』をご覧くださいただただでしょうか?。

平成23年度「二見公民館まつり(二見地区ふるさとまつり)」のご案内

- とき 1月29日(日) 8:30~15:00
- ところ 二見小学校体育館
- 展示 保育所入所児、小・中学生、各種グループの作品展示
- 芸能発表 歌謡、舞踊などの発表
- バザー ふるさとの味即売(寿司・炊き込み・草もち等)
海の幸即売(イワシ・塩さば・むきえび・ひじき・わかめ等)
地域の特色を生かした手づくりの公民館まつりです。
たくさんの方のご来場をお待ちしています。



(問い合わせ先) 町見公民館 電話39-0212



ふれあいピック(川永田一)

12月2日中央公民館運営審議会が開催され、その中で今年度自治公民館活動事業の中間報告を行いました。
この活動は、各地区の自治公民館主事さんが企画する事業に対し町から助成されるもので11月現在10地区22事業が実施されています。
内容は、三世代交流、手芸・料理講習、健康講座、軽スポーツ大会等、地域において特色のある多様な事業が行われ、学習意欲向上、地域の活性化や親睦が図られています。



婦人会交流会(中之浜)



三世代交流会(豊之浦)

各地区で自治公民館活動事業実施中!!

中央公民館



有寿来振興会親睦会(伊方越・亀浦)



小・中合同親子行事(小中浦)



三世代バタック大会(大浜)

町スポーツ推進委員長の

田丸与七郎さんが全国功労者表彰を受賞

11月10日～11日に東京体育館で開催された「全国スポーツ推進委員研究協議会」において九町の田丸与七郎さんが「スポーツ推進委員功労者表彰」を受賞しました。田丸さんは、18年の長きに渡り住民へのスポーツ実技指導はもとより、町教育委員会や町内の各スポーツ団体が開催するスポーツ事業において、企画運営に積極的

に参加するなど町のスポーツ振興への多大なる功績が認められたものです。



10月2日～11月13日まで県総合運動公園を主会場に開催された愛媛スポーツ祭に、本町からも多くの選手が出場しました。本町関係者の結果上位入賞団体のみは次のとおり。

少年相撲・インディアカ・ペタンクで優勝 (団体の部) 愛媛スポーツ祭2011

【ペタンク】▽高齢・福祉の部
①伊方川永田(念稲月)③伊方川永田(松田)

- 【ソフトボール】▽小学男子A
- ②伊方スポ少
- 【相撲】▽団体小学①伊方
- 【年齢別バドミントン】
- ▽男子③伊方
- 【インディアカ】▽男子
- ①みさき③かーなま▽女子1部③みさき▽2部③舞姫



18チームの頂点に立った伊方チーム
(左から井村太紀くん、阿部階喜くん、近藤俊一郎くん)

本仕込みの技から学ぶ！

三崎人権のつどい講演会

「三崎人権のつどい講演会」が11月24日に三崎小・中学校体育館で開催されました。この講演会には、三崎地域内の小学生、中学生と三崎高校2年生のほか地域住民の方々が集まりました。

まずはじめに、「被差別民と芸能」と題し村崎修二さんが講演を行いました。村崎さんは、全国各地で部落差別の現実について話とギターの弾き語りや語り、あわせて伝統芸能の猿まわし芸を披露しています。猿の調教は、叩かず親と子のような信頼関係を築くことに時間をかけ、褒めて繰り返すうちに覚えさせるといった子育て、人材育成に通じる「本仕込み」という方法をとっています。

講演はそこで、猿まわしの主役「なつみくん」が登場。子どもたちは目を輝かせ、早く芸を見せてといわんばかり。ここで、見学する上での約束(中へ入らない。しっかり見る。褒めてあげる。一斉に大きな拍手。)をしました。はじめは、好きなこと得意なことからはじめ、徐々に苦手な技に挑戦していきました。無理

をさせずに、「なつみくん」リズムで芸が披露されました。子どもたちは、興味津々で猿まわしをみて楽しんでいました。子どもを持つ保護者の方々は「本仕込み」の芸から何か学ぶところがあったのではないでしようか。



小学生相撲大会で

全国大会出場

伊方小学校5年

阿部階喜くん

(川永田)

12月4日、両国国技館(東京都)で開催された「平成23年度ジュニアオリンピックカップ」第24回全日本小学生相撲優勝大会に伊方小5年阿部階喜くんが出場しました。この大会は、全国8つのブロック予選会を勝ちあがった各学年の上位4名と北海道ブロックからは優勝者が出場します。各学年33名が学年(4年・5年・6年)別にトーナメント方式で試合を行い優勝を争います。阿部くんは、8月28日に開催された四国ブロックの予選会5年生の部で3位の成績を修め、はじめて全国大会の出場権を手に入れました。昨年の、四国大会敗戦をばねに、「きなはいや伊方まつり」こども相撲の練習から四国大会までのおよそ1ヶ月間、精力的に練習に取り組みました。全国大会までの3ヶ月間は、西予市野村町の春日館相撲道場へ出稽古に行きました。

全国大会は、残念ながら1回戦敗退という結果でしたが、阿部くんは「基本を見直し来年も全国大会に出場し、1回戦は突破したい。」と決意を新たにしています。

海上自衛隊 呉音楽隊がやってきた!

12月8日、伊方町民会館大ホールで開催された海上自衛隊呉音楽隊のみなさんによる演奏会に、伊方町内の小中学生と教職員およそ800名が集まり演奏を楽しみました。午後2時、児童生徒の拍手とともに音楽隊のみなさんがステージに入場し演奏がはじまりました。演奏の合い間には、いろいろな楽器の紹介があり、その中で今回は「フアゴット」という楽器の詳しい説明と音色を体験させていただきました。

また、指揮を体験するコーナーがあり、「指揮をやってみたい人は」というと元気良く多くの子どもたちが手を上げました。その中から、伊方小1年阿部沙耶さんが一番初めに選ばれステージに上がりました。観客席では元気いっぱい手を上げていたのが、ステージに上がると緊張のためか表情も固く心配されましたが、かなりゆっくりにした行進曲「軍艦」の指揮をやり遂げました。次の体験者は、伊方小2年渡邊眞也さんとして、最後は伊方中2年田縁詠志乃さんが竹内隊長に教えていただきました。

指揮棒を振りました。体験した後は、「本当の指揮者になったみたい。」「楽しかったです。」「感想を述べています。この後は、みんなが知っている歌謡曲やアニメソング、テレビの主題歌「マル・マル・モリ・モリ!」では、多くの子どもたちがステージの音楽隊の皆さんと一緒に振り付けを踊りました。手拍子を打ちながらの楽しい1時間の演奏会はあっという間に過ぎていきました。



大勢の小学生のみなさんが一緒に元気よく踊った「マルモリ体操」



一生懸命に指揮棒を振る阿部沙耶さん



故清家桂二氏（元大久小学校長）従六位を受章

平成23年8月29日に逝去された故清家桂二氏（松山市）に、生前、学校教育の振興及び青少年健全育成に尽くされた功績に対し、従六位が授与され、遺族に伝達されました。

氏は、昭和15年9月に東宇和郡野村尋常高等小学校代用教員として採用され、昭和16年3月からは同郡高山村田之浜国民学校助教を務められました。

また、昭和20年9月に愛媛青年師範学校を卒業後、東宇和郡依津村立依津青年学校教諭を振り出しに、長年にわたり、教諭・教頭・校長として、児童教職員及び地域社会の住民に影響を与え、教育の充実進展に多大な功績がありました。

特に、昭和47年4月1日から、瀬戸町立三机第二小学校長として勤務し、常に児童を中心に据えた学校経営を行ない地域の大きな信頼を得ました。また、昭和51年4月1日から退職までは、瀬戸町立大久小学校長として勤務、田部小学校との統合を果たすなど地域を基盤とした学校づくりに努め、多くの成果を残されました。

伊方町小中学校入学経費助成事業のお知らせ

【目的】

町内の小中学校に入学する児童・生徒の保護者に対して、通学用品購入経費の一部を助成することにより、保護者の負担軽減を図ります。

【助成対象者】

町内に住所を有し、町内小中学校に入学予定の児童・生徒を養育している保護者。

【助成方法】

助成方式は、伊方町内の指定店での現物支給になります。

助成額は、小学校1万円、中学校3万円を限度とします。（1回限り）

【その他】

助成対象通学用品・町内の指定店及び申請等の期限については、保護者への事前案内でお知らせいたします。

【問い合わせ先】

伊方町教育委員会 学校教育室
電話38-2660（直通）



学校通信



お祭りワッショイ大会

二見小学校

10月に入り、町中に秋祭りの雰囲気を感じられる頃、二見小学校でも恒例の『お祭りワッショイ大会』の準備を始めます。

今年度は10月6日(木)に地元の方々を講師に招き、4年生以上で牛鬼を、3年生以下は、花神輿を完成させ、6年生を中心に練りや牛鬼歌の練習を全校児童で行いました。この日から『お祭りワッショイ大会』に向けてのスイッチが入り、各教室から元気な牛鬼歌が聞こえてくるのです。

10月15日(土)は、待ちに待った『お祭りワッショイ大会』です。まずは、全校児童24名と教職員、そして保護者の方々が揃いの法被と八チマキをし、恒例の記念写真を撮ります。そして、開会式を済ませた後神社へ向かいます。神社では、加周保育所と合同で安全祈願を済ませた後、練りの始まりです。

午前中は、学校周辺の田之浦、加周、古屋敷の順にまわり、午後からは、バスで移動して大成、鳥津、二見の順にまわりました。



一日を通して、保護者の方々が牛鬼の移動の役割分担をして協力して頂きました。児童、教職員、そして保護者全員が一日中一緒に練り歩くことにより、一体感を感じる行事です。

また、13力所全ての場所で、地域の方々が、子ども達の到着を小雨の降る中にもかかわらず首を長くして待っていてくれました。そして、心温まる声かけや拍手などを頂き、二見小学校の児童は本当に地域の方々に支えられ、大切にさせて頂いていることを実感し、とても感動しました。

毎年『お祭りワッショイ大会』を通して、児童を中心にPTAがひとつと成って心温まる体験ができる充実した一日となっています。

自然観察会

佐田岬小学校

11月9日、少し肌寒い曇り空のもと、愛媛県環境マイスターである水本孝志さんをお迎えして自然観察会を実施しました。佐田岬灯台周辺の動物や植物の観察を通して、地域よさを体感し、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を育てることを目的に行う観察会も今ではすっかり定着して、児童もさながら生物学者のように意欲的に取り組んでいます。例年ならこの時期に見られるヒヨドリの渡りは残念ながら見ることはできませんでしたが、佐田岬に生息する貴重な動物には数多く出会うことができました。



した。身を守るため全身にトゲをまとったクストイゲは、まさに芸術品です。絶滅危惧種のコウラボシが岩のわずかなくぼみに懸命にしがみつく姿は感動ものです。岬の突風に流されながらも渡りの準備をしているアサギマダラの姿は、か弱くも見え、気丈にも見え、思わず応援したくなります。観察会の最後に灯台駐車場下の斜面に広がるノシギクの花の中にもぽつんと紫の花を発見しました。ソナレノギクです。佐田岬では今まで見つかったくないそうぞ、珍しいと水本先生がおっしゃっていました。児童は双眼鏡で確認し、自然の不思議さを感じ入っていました。「自然を好きになるだけではいけない。自然に好かれる人になってください。」水本先生の言葉に児童は深くうなずき、今年も有意義な観察会になりました。



みかんツリーで町を彩る！

～二名津郵便局主催～

12月2日、二名津小学校でみかんツリーの制作が行われました。この行事は、二名津郵便局主催ではじめて実施されました。今回は、150cmのツリー3本を制作します。その飾り付けに使ったみかんは150個。

郵便局長の磯崎さんが作業手順を説明した後、早速作業に取り掛かりました。まず、4～6年生がカッターナイフを使ってみかんに切り込みをいれ、1～3年生が中味を取り出します。その後、皮を接着剤でくっつけます。悪戦苦闘しながら、80分間集中力を切らすことなく作業を行いました。



最後に、子どもたちからは、「皮を切ったり、くっつけたるのが難しかったけど、うまく出来てよかった。」「頑張りました。」などの感想が出ていました。しばらく乾燥させた後14日に飾り付けを行った3本のツリーは二名津小学校、二名津郵便局、田村菓子舗に飾られています。



激戦を制したのは、水ヶ浦と大久

～西宇和郡小学校サッカー大会～

11月17日、三崎小中学校グラウンドにおいて「西宇和郡小学校サッカー大会」が開催されました。今年は、Aゾーン9人制に大久・伊方・三机・三崎、Bゾーン7人制に佐田岬・二名津・水ヶ浦・二見・九町が出場しました。予選は、リンク戦で行われた2チームが決勝戦を行います。決勝に駒を進めたのは、Aゾーンは伊方(2勝)と大久(1勝1敗)。Bゾーンは、九町(2勝)と水ヶ浦(2勝)。今回Bゾーンの予選では、5試合の内3試合がPK戦にもつれるなど実力伯仲の試合内容でした。

Aゾーンは、予選2対0で大久に勝利している伊方が優位に試合を進めるかと思いましたが、はじまつてみれば互角の試合展開。5分間の延長でも0対0のためPK戦に突入。このPK戦でも、手に汗握る一心体の攻防が続きましたが、最後の5人目、大久が決めた後、伊方のシュートをキーパー山本くんが見事防ぎきり3-2で大久が優勝しました。

決勝戦Bゾーンは、前半に1点を水ヶ浦が先制しました。後半は、九町が

前半に1点を水ヶ浦が先制しました。後半は、九町が



▲大久対伊方(Aゾーン)の決勝戦

▼水ヶ浦対九町(Bゾーン)の決勝戦



伊方町教育活動指導員募集のお知らせ

- 【採用予定】 教育活動指導員(中学校の数学教員の補助員)(数学 3名)
 【受験資格】 数学の教育職員免許取得者(中学校普通免許状1種免許状以上)
 【勤務条件】 (1)勤務先 伊方町内の中学校
 (2)勤務時間 原則として1週間あたり35時間
 (3)報酬 月額 250,000円
 (4)休暇 年次有給休暇(年10日間)他
 (5)雇用期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日(更新有り)
 【試験日等】 一次試験 平成24年2月4日(土)
 一般教養試験・一般性格診断
 二次試験 平成24年2月24日(金)
 (一次試験合格者) 作文試験・面接試験
 【試験会場】 伊方町役場
 【合格発表】 一次試験 平成24年2月上旬 合格者のみ通知
 二次試験 平成24年3月上旬 合格者のみ通知
 【受験手続】 次の書類の提出をもって申込とします(郵送可)
 (1)履歴書
 (2)最終学歴の卒業(見込)証明書及び成績証明書
 (3)健康診断書
 (4)教職員免許状(免許状取得見込み証明書)
 【申込期限】 平成24年1月24日(火)(当日消印有効)
 【申込先・お問い合わせ先】 伊方町教育委員会 学校教育室 電話0894-38-2660(直通)

伊方堂々太鼓ジュニアが表彰

青少年育成活動功労者等に対する愛媛県青少年育成協議会会長感謝状受賞

11月16日、国立大洲青少年交流の家で開催された「青少年育成推進南予(大洲)大会」で、伊方堂々太鼓ジュニアが愛媛県青少年育成協議会会長感謝状の贈呈を受けました。これは、青少年団体としての活動が積極的で他の模範となると認められたものです。

伊方堂々太鼓ジュニアは、平成9年7月に結成し、子どもの健全育成と伝統文化の継承、リズム感・感性の取得を目的とし活動しています。現在では4歳から中学校3年生までの会員34名で毎週土曜日に練習を重ねています。演奏は、地元で開催しているイベントを始め、特別養護老人ホームの夏祭りなど年間10回程度の出演をし、演奏を通して地域住民とのふれあいや地域の文化向上、伝統文化の継承に努めています。



図書館だより



1月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

○…おはなし会
 ■…休館日

利用案内

- 開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時
 - 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も) 祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日
 - 瀬戸・三崎地域の方へ
瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。
- 伊方町立図書館** (伊方町生涯学習センター2階)
 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地
 TEL(0894) 38-0607

新着図書

《一般書》



《内容紹介》

人間が死ぬまでの寿命がカウントダウンとして見え、しかもその寿命をかえられる存在がいたら?そして、そんな不思議な力を持つ名無しの少年が人類の運命を握っていたら?“運命と命”のゲームを描く。

- 名のないシヤ 山田 悠介 著
- 負けんとき 上・下 / 玉岡 かおる 著
- 翁 / 夢枕 獯 著
- ジェントルマン / 山田 詠美 著
- ヒア・カムズ・ザ・サン / 有川 浩 著
- 蛍の航跡 / 帚木 蓬生 著
- あかりの湖畔 / 青山 七恵 著
- 消失グラデーション / 長沢 樹 著
- ワンス・アホナ・タイム / 安東 みきえ 著
- 再春館製薬所ニッポンいちの社員食堂 / 主婦の友社 編、再春館製薬所 監修
- 鬼物語 / 西尾 維新 著

ほか

《児童書》



《内容紹介》

スーモはテキパキともつをつめて、ちょっとわくわくおでかけじゅんぴ。しましまウキワにもコモコてぶくろ、ソリにタイヤをつけて、さあ、しゅっぱつ! ウラにはながいめいろがついてるよ。

- トコトコスーモ スズキアツコ 作・絵
- ふしぎの森のヤーヤー / 内田麟太郎 作、高島 純 絵
- ツチノコ温泉へようこそ / 中山 聖子 作、保光敏将 画
- 魔法の泉への道 / リンダ・スー・パーク 著、金利光 訳
- ゆうれい猫ふくこさん / 廣嶋 玲子 作、バラマツ ヒトミ 絵
- どんぐりきょうだい / 中川ひろたか 文、かべやふよう 絵
- 少年弁護士セオの事件簿 2 / ジョン・グリシャム 作、石崎洋司 訳
- メイはなんにもこわくない / きむら ゆういち 作、あべ 弘士 絵
- あさになったのでまどをあけますよ / 荒井 良二 著

ほか

新しく購入した本は、図書館ホームページからもご覧いただけます。URL: <http://library.town.ikata.ehime.jp>

お正月の本の展示について

2012年は辰(龍)年。
 図書館では、辰年にちなんで龍のでてくる本やお正月に関する本の展示を行っています。
 展示している本はすべて貸出できますよ。
 お気軽にお越しください。

今年も
 よろしく
 お願いします。



ピップスおはなし会のご案内

～ 今月のおはなし会 ～

日 時：14日(土)・28日(土) 午後1時30分～
 場 所：図書館 おはなしコーナー
 対象者：未就学児童および親子
 小学校低学年児童



絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね!

町見郷土館から

郷土館のおしごと

町見郷土館の仕事は、展示室に資料を並べるだけではありません。町内のさまざまな行事も、長い目で見て地域の歴史的な出来事のひとつと判断すれば、現地へ取材に行くこともあります。



写真は12月8日、三木の須賀公園で開催された「九軍神慰霊式」(撮影は当館学芸員)。地元青年団主催で連綿と受け継がれているこの行事は、今年真珠湾攻撃70周年の節目を迎え、例年以上に盛大に行われました。平和の尊さがあらためて認識されます。

1月26日は文化財防火デー

文化財はわたしたちの身近なところにあります。郷土の誇りを火災等の災害から守り、将来の子供たちに伝えるためにも、日頃から地域のみみなで大切にしたいものです。

◆ 今月のきょうどかん ◆

TEL・FAX 39-0241
不在の場合 38-2661 生涯学習室
開館時間 9:30~16:30
休館 月曜日ほか

2012年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■—おやすみ □—夜スライド上映

町内の野口英世像

町内には野口英世関係の銅像が三ヶ所あります。ひとつは伊方中学校の校庭にある「野口博士母子像」(写真1)、昭和四二年(一九六七)、体育館新築記念に製作されました。



(写真1)

もうひとつは九町小学校の野口英世博士少年像(写真2)。



(写真2)

同じく昭和四二年の作(話が脱線しますが、この像の台座手前の地面に、たいへん珍しい戦前の奉安殿を設置した跡を示す昭和十五年の石版が遺されています。時代の変遷を身近に感じる好教材といえるかもしれません)。



最後は二見小学校にある昭和四四年(一九六九)に製作された「野口英世博士」(写真3)です。

これらの像は、実は八幡浜を拠点に活動した彫刻家、塩崎宇宙の作品です。

塩崎宇宙は明治四四年(一九一)に大坂に生まれ、今年(平成三年)が生誕百周年でした。大阪

城天守閣の金鯨原型制作をはじめ、昭和十八年に妻富美子の故郷八幡浜に移ってからは、八幡浜の

佐田岬民俗ノート 80



(写真3)



八幡神社の「平和の塔・平和の鳩」、金山出石寺の「しかの像」、四国山の「弘法大師修行像」などを作成。ほかにも天文犬「チロ」の像や、冒険家「植村直己レリーフ」(デンマーク領グリーンランド設置)など数多くの作品を遺しています。

平和と希望を感じさせる作品の多い塩崎宇宙作品。先生の制作した野口英世像は、幾年たっても子供たちに、先人の偉業から多くを学び、地域の将来を担ってほしいという地元の人々の想いが込められているのかもしれない。

参考資料:「塩崎宇宙展」パンフレット(一九九八年・八幡浜市教育委員会)



全国人権・同和教育研究協議会に参加して

町人権教育協議会 毛利久夫

11月26日・27日の2日間にわたり鹿児島市で開催された「全国人権・同和教育研究大会」に参加しました。

1. テーマ 差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう

〈第1日目〉

①全体会

○基調提案

○特別報告(3名)リレートーク「かしまの同和教育とわたしの生き方」

②分科会

○学校教育部会・社会教育部会・特別部会

〈第2日目〉

③分科会(1日目)引き続き)

2日間、私はテーマ「人権確立を目指すまちづくり」の第5分科会に参加したのでその概略を述べます。分科会は、5名の報告をもとに交流・討議等が行なわれました。

○部落問題をはじめとするさまざまな人権問題を解決し、人権確立をめざし、啓発活動・学習活動を展開する。

○「すべての差別からの解放」という基本に立ち返り、行政及び関係団体との連携を深めながら



実践活動を行う。
○人権講座、地区懇談会等に意欲的に参加し、組織づくり・学習プログラムづくり・指導者の育成を行い、人権教育・啓発を行う。
○人間関係・信頼関係を築くことが出発点である。
○分けることは差別であり、障害者やその就労について温かい理解を示すこと。
本大会に参加し、問題点・課題に取り組む多くの人たちとの出会いがありました。伊方町における人権・同和教育は着実に歩み続けているが、今回学んだことを元にさらなる拡がりや深まりのある学習活動が続けたらと思います。

児遊館より

「パタンてるてるぼうず」を作しましょう!

1月21日(土)午後2時から、「パタンてるてるぼうず」を作しましょう! 参加される方は、当日時間までに3階児遊館にお越し下さい。

参加費: 無料

映画上映会のご案内

1月14日(土)、3階児遊館にて映画上映会を行います。室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越し下さい。

場 所 児遊館内 集会室

作 品 名 ラマになった王様

上映時間 1回目 10:00~11:20

2回目 15:00~16:20

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館
38-0211(内線856)



「親子レクリエーション教室」受講生大募集!!

～親子で楽しく身体を動かそう～

日 時: 1月21日(土) 14:30~15:30

場 所: 伊方スポーツセンター アリーナ

内 容: バランスボール運動
: 親子コミュニケーション運動など

受 講 料: 500円(1ペア)

受講資格: 5~8歳の児童と保護者

持 ち 物: 体育館シューズ・タオル・飲み物

※動きやすい服装で受講してください。

(キトリ線)

第2日曜日は『スポセンプール無料の日』

※ プール無料券 ※

1月8日(日)にこの用紙を持参された方は午前9時から12時の間に限り、伊方スポーツセンタープールの利用が無料でご利用頂けます。

利用人数: この用紙1枚で3名まで利用可能です。

注 意: 小学3年生以下のお子様は必ず保護者の方と一緒に遊泳してください。(大人一人につき子ども2名までです。)

: 体調を考えて無理なご利用はご遠慮ください。

: 必ず、この券をご持参ください。

なお、くわしいお問い合わせは、下記にご連絡ください。

伊方スポーツセンター ☎38-1100

☎38-0776

『大人の水泳教室』

各自の泳力に合わせた指導を行います。

また、水中歩行など水の特性を利用した運動も実施致します。

日 付: 1月19日 ~毎週木曜日

: 4回/1期(1/19・26・2/2・2/9)

時 間: 15:10~16:00 (50分程度)

料 金: 3,200円/1期

注 意: 医師に運動を止められている方はご遠慮ください。

報 文 芸

伊方俳句会

秋晴に匠一文字除幕の碑

上田益男

四日早や倉庫明るし蜜柑選る

二宮寿賀子

冬の陽を背に受け朝刊開き見
る

篠川勝子

人恋の思ひのつり雪降り

渡辺日出子

受話器より級友の声師走かな

明神つた子

ほうれん草熱湯を通しての緑

かな

梶谷千代子

日の匂ひ風のささやき返り花

門田千枝

野菊咲き南京の花乱れ咲く

宇都宮睦子

衣替え野地蔵さんも菊日和

篠川晴子

農作業急ぐ家路の夕暮れて

宇都宮法子

亥の子唄綱持つ子等の声高し

足利敦子

海峡を染めて沈みぬ秋入日

亀井成美

長寿賞賜る至福敬老日

田中初子

力作の菊の香りや文化祭

田村智子

沖遙か見ゆる峠路つわの花

上田幸香

船覆う海峡走る雪簾

石井義夫

着脹れて犬と遊びて一と日暮

山崎美喜

走り根の冬の大地を盛り上げ

上田サチエ

普段着で行ける里の温泉春隣

井上良枝

日溜りの友と出逢ひて蜜柑剥く

長野しずこ

石庭の松手入れせり朝日かな

上田文男

百姓の目で見る病窓蜜柑熟れ

木戸悦子

瀬戸句会

海光はいつも同じや去年今年

吉見福子

段島に秋苗植えてひとやすみ

幸谷幸子

虫しぐれ止むこともなし目覚

幸谷アイ

めおり

幸谷アイ

独り居に嫁が持参の冬至南瓜

井上幸子

老いたりといえど来る年年女

小林アキ子

どの道も野菊真白く佐田岬

浅井ミドリ

秋茄子に味噌の出来栄え試し

佐々木忠雄

娘の便りひぎにこぼれし紅葉

佐々木サチ子

みかん熟るままごと遊びの思

結城勵子

い出よ

佐々木 照

被災地の秋刀魚と聞きて買

佐々木禮子

にけり

福岡 博

友逝きて命儚し長き夜

加藤慶子

雲たれて雪が降るかな風吹け

岡本 登

庭になる柚子のトゲの鋭さよ

北 英二

東北にも佐田岬にも冬の月

北 英二

家並にそいて咲きある石路の

伊藤植美

花

秋が行く不安だらけのPPP

境内に音立てて降る木の実か

佐々木順子

電話では言えぬと涙秋夕べ

藤村富士子

あみだ句会

石路野菊海辺の道に凜々と

西上ミツヨ

物忘れするも心はさわやかに

阿部ヨシ子

山茶花に冬雲走り日は落ちぬ

松本光子

西日さす擁壁紅き鳶紅葉

宮部タミエ

小鳥来ぬ庭となりたる秋さび

池上松子

し

池上松子

ゆずりあう集落の道秋の暮

玉里宏子

文化祭遺作の多き絵画展

木原敬明

す

高月 仁

瑠璃窓の照る日曇る日石路生

池上 馨

北斗の会

家並にそいて咲きある石路の

花

秋が行く不安だらけのPPP

境内に音立てて降る木の実か

な

佐々木順子